

6 学校教育

2024年度（令和6年度）主要施策

1 主体的・対話的で深い学びの推進

（１）「学びが面白い」と実感する「子ども主体の学び」づくり

自ら課題を見つけ、考え、判断して行動できる力（知）、思いやりや感動する心など豊かな人間性（徳）、たくましく生きるための健康や体力（体）を身に付けることができるよう「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行う。

① 学びづくりフロンティア校事業

重点的な取組を基点に「学び」を探究する学校を募集・指定し、実践・検証・改善の過程を全市立学校に発信する。

〔学校を指定する重点的な取組〕

- ・幼保小中学びの接続 ・効果的なＩＣＴ活用 ・学力調査の分析データ活用
- ・コミュニティスクール運営 ・アセスメントに基づく支援

② 教科の専門性パワーアップ事業

「言葉と数」が全ての教科の基盤であることを踏まえ、各教科の学習指導要領に立ち返りながら、教材研究や授業実践に取り組む。

③ 「学力の伸びを把握する調査」事業

児童生徒一人一人の学力の伸び及び非認知能力の変容を経年的に把握し、学びづくりの取組を評価し、改善・充実させる。

※「学力調査の分析データ活用」の研究・実践校の指定

④ 英語教育推進事業

外国語指導助手（ＡＬＴ）を各学校に月４回程度派遣する。

⑤ 外国語ラウンドシステム事業

外部講師による教職員研修、授業参観・協議を通して外国語授業の質を高め、聞く・読む・話す・書く技能の総合的な定着と生徒が自分の考えや気持ち、事実などを英語で表現する力の育成を図る。

⑥ 北京市教育交流推進事業

スポーツや科学技術、芸術文化等に関する専門大学を訪問する等、参加者がより視野を広げ、主体的に学ぶ場となる教育交流を行う。

⑦ 芸術文化体験事業

ふくやま美術館等へ児童生徒を招待し、本物の芸術に触れることを通して、豊かな創造力・想像力や思考力などを養う。

⑧ キャリア教育推進事業

職場体験学習や企業探究学習、進路探究学習などを通して、社会的・職業的自立の基盤となる資質・能力を育む。

⑨ Rose&Peace 教育

世界バラ会議を学びの場・機会として、教科横断的に探究するカリキュラムを編成・実施し、国際理解を深めるとともにローズマインドを育む。また、市内４１校は、学校花壇で参加国等のばらを育てる。（School Rose Garden Project）

（２）学習端末を活用した学びの深化

子どもたちがＩＣＴの善き使い手となることを目指す「デジタル・シティズンシップ教育」に基づ

き、デジタルとリアルを組み合わせた学びを通して学習意欲や情報活用能力を含めた学力の向上を図る。

① 日常のデジタル化による学習者主体のＩＣＴ活用

各教科の特質に応じて、情報検索、文書作成、表計算、プレゼンテーション等の機能を活用する。

※「効果的なＩＣＴ活用」に係る研究・実践校の指定

② プログラミング教育の充実

中学校のモデル校にプログラミング教材を導入する。

（３）学びの連続性を確保する教育課程の編成・実施

就学前教育と学校教育の連携・接続を発展させ、遊びや体験を通じた言葉や数の確かな習得を図る。

※「幼保小中学びの接続」に係る研究・実践校の指定

（４）行動化できる学びを牽引する中高一貫教育の推進

生徒一人一人の進路実現を図るため、教育環境及び指導体制の充実を図り、６年間の計画的、継続的な指導を行う。

① 学力向上推進事業

講師による特別講義などで生徒の学力向上を図るとともに、進路指導セミナーや先進校等の研究会や研修会に参加するなど教師の教科指導力の向上を図る。

② グローカル人材育成事業

国際社会、地域社会での活躍する人材を育てるため、地元企業や大学等との連携した創造的・探求的な教育活動を進めるとともに、身につけた力をより確かなものとする機会として、海外語学研修先の拡充に取り組みながら姉妹校等との交流を行う。

２ 多様な学びの場の整備充実

（１）校内外フリースクールにおける学びの環境の充実

集団で学ぶことの難しい児童生徒が、学校・教室以外の学びの場としてフリースクールを利用し、職員や友だちと関係を築きながら、社会性やコミュニケーション力等を育成する。

- ・ 個別サポート計画の作成・運用
- ・ オンラインによる学習機会の保障

（２）アセスメントに基づく指導支援実践事業

自閉症・情緒障がい特別支援学級の児童生徒を対象に、専門的教育ソフトを利用したアセスメントを行い、実態に即したカリキュラムの編成や個に応じた支援の充実に活かす。

※「アセスメントに基づく指導支援」に係る研究・実践校の指定

（３）特別支援教育体制推進事業

介助員・学校支援員・障がい児指導員・看護介助員の配置

（４）外国人児童生徒等教育推進事業

日本語指導が必要な児童生徒に対し、個々の状況に応じた、きめ細やかな支援・指導を行う体制を確立し、学校生活への円滑な適応と望む進路選択につなげていく。

（５）水泳指導支援事業

整備された環境、専門のインストラクターの指導により児童の泳力を向上させるとともに、プール

維持管理費を抑制する。

小学校 24校 民間 6施設 公共 3施設

(6) 学校図書館環境整備事業

リニューアル後の学校図書館を言語活動や探究活動の場として、知的好奇心を醸成する開かれた学びの場となるよう環境や運営の充実を図る。

- ・ 学校図書館運営委員会の設置
- ・ 小中一貫教育学校図書館補助員の配置
- ・ 利活用促進に向けた利用状況の記録及び研修の実施

(7) 新たな学校の設置

開校3年目となる広瀬学園（特認校）及び常石ともに学園（イエナプラン教育校）の教育内容の充実を図る。

3 学びをつくる教職員研修の充実

(1) 教職経験に応じた研修

初任者、中堅、主任、管理職など、それぞれの教職経験や役割に応じ、自己課題の解決に向けた研修を実施

(2) 教職員主体の研修

教職員が企画運営を行う校内・教科別ブロック研修やアンケートで把握した教職員のニーズに応じてテーマを設定するニーズ研修を実施

(3) 幼保小中合同研修

「学びの連続性を確保する教育課程」の編成・実施に向けた合同研修や幼保小中の教職員が互いに保育・授業を見合い交流・協議する等、連携校区別研修を実施

(4) 外部機関と連携した研修

- ・ ICT活用スキル向上のため、企業等との連携による習熟度に応じたICT研修を実施
- ・ 専門性を有する講師を迎えて授業実践研究を進める研修を実施

4 教職員が元気で笑顔で勤務できる環境の充実

(1) 部活動指導に係る教員の負担軽減と生徒にとって望ましい持続可能な部活動の両立

- ・ 学校の状況に応じた部活動指導員の配置
- ・ 各種競技団体との連携等による休日の部活動の段階的な地域移行

(2) 統合型校務支援システムの導入

学籍・出席簿・成績・保健関係等の事務を一括管理する「統合型校務支援システム」を導入し、教員の業務負担の軽減を図るとともに、児童生徒の関わりや授業づくりの時間を増やし、教育の質の向上につなげる。

5 子どもの学びを支える教育環境の整備

(1) コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入

学校・家庭・地域が、連携・協働して教育活動を推進する体制を構築し、教育活動の充実を図る。

- ・ 導入校

鞆の浦学園、想青学園、常石ともに学園、広瀬学園小中学校、新市中央中学校区、加茂中学校区、幸千中学校区、神辺西中学校区、福山中高等学校

(2) 子ども主体の学びの場の整備

① 児童生徒用学習端末の入替整備

卒業する中学3年生から回収した学習端末を、翌年度入学する小学1年生に再貸与するため、修理、調整、クリーニング等を行う。

② 学校施設の長寿命化改修

学校施設の老朽化が進む中、長寿命化改修等を行い、施設の延命化を図る。

③ 屋内運動場床改修

児童生徒の学習環境の改善を図るため、老朽化した床の塗装替え又は全面張り替えを実施する。

④ 学校規模・学校配置の適正化

少子化が進む中、一定の集団規模を整え、子どもたちに主体的・対話的で深い学びを通して変化の激しい社会をたくましく生きていく力を育む。

- ・ 学校施設の整備

想青学園（義務教育学校）の部室棟増築、スクールバス乗降所・駐輪場・駐車場整備、テニスコート・防球ネット他フェンス整備工事 等

- ・ 通学支援事業

スクールバス運行業務委託

- ・ 通学支援事業費補助

広瀬学園への通学に係る交通費補助

⑤ 部活動の強化と環境の整備

福山中・高等学校の部活動を活性化し、強化を図るため、グラウンドの整備等を行う。

(3) 安心して学ぶことができる環境づくり

① 学校給食運営費負担金

食材の価格高騰に伴い、福山市の学校給食事業を運営している福山市学校給食会へ事業運営費を補填し、保護者の負担軽減を図る。

② 給食調理場空調設備整備

給食調理場の衛生環境の改善と熱中症対策の推進のため、計画的に空調設備を整備する。

③ 給食調理場スポット冷房設備整備

緊急的な熱中症対策として、天吊型のスポット冷房設備を整備する。

④ 学校給食新親子方式試行

中学校給食において採用している、1校の調理校（小学校）が1校の受配校（中学校）へ調理・搬送を行う「親子方式」を発展させ、複数の受配校に調理・搬送を行う「新親子方式」による運用を2年間試行実施する（今年度が2年目）。

⑤ 校舎廊下の木質化改修

温かみと潤いのある教育環境をつくるため、校舎廊下の壁面を広島県産の木材を活用して改修する。

⑥ 通学路の安全確保

福山市通学路交通安全プログラムに基づき合同点検及び対策を実施する。（中学校の通学路を含

む。)

6 市民サービスの向上

学校施設使用のスマート化

学校施設使用に係る施設予約のオンライン化と、屋内運動場の鍵の受け渡しを不要とする「スマートロック」を導入する。

◆就学支援の充実

(1) 就学援助

経済的な理由によって、就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、学校給食費、学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、入学準備費、医療費、オンライン学習通信費の一部を援助する。

【援助の状況】

(単位：人、%)

区 分	2019(R元)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)
小学校	3,531 (13.9)	3,450 (13.7)	3,329 (13.3)	3,223 (13.1)	3,183 (13.2)
中学校	2,060 (17.6)	2,013 (17.1)	2,071 (17.3)	1,941 (16.3)	1,942 (16.2)
計	5,591 (15.1)	5,463 (14.7)	5,400 (14.6)	5,164 (14.1)	5,125 (14.2)

※人数は準要保護認定者及び要保護対象者の合計。

() は、市立学校における児童生徒に占める割合

(2) 奨学金

有用な人材の育成に寄与するため、学習意欲がありながら、経済的理由により修学が困難な者に対して学資を貸与するほか、大学等への受験や入学が困難な青少年に対して大学等への進学を支援するため、受験資金や入学準備金を貸与する。

① 福山市奨学資金（対象：大学・短大・専修学校等）

修学資金	月 額	国公立	40,000 円
		私 立	60,000 円
入学準備金	修学資金貸与決定者が対象		500,000 円以内

② 誠之奨学金（対象：高校・高等専門学校）

奨学金	月 額	国公立	20,000 円
		私 立	40,000 円
入学準備金	修学資金貸与決定者が対象		300,000 円以内

③ 福山市青少年修学応援奨学金（対象：大学・短大・専修学校等）

受験資金	受験前に貸付け	200,000 円以内
入学準備金	受験結果報告後（入学前）に貸付け	800,000 円以内

※卒業等の所定の要件により返還を免除する。

【貸付けの状況】

(単位：人)

区 分		2019(R 元)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)
福山市奨学資金	新規貸付け	16	20	16	8	15
	継続貸付け	53	44	43	35	28
	計	69	64	59	43	43
誠之奨学金	新規貸付け	6	1	2	0	1
	継続貸付け	10	11	6	3	1
	計	16	12	8	3	2
福山市青少年 修学応援奨学金	受験資金	11	10	11	10	11
	入学準備金	11	11	11	11	11

◆福山市教育相談センター

学校教育における今日の課題を踏まえ、教育相談事業の充実を図る。

【センターの概要】

名 称	福山市教育相談センター
所在地	北吉津町四丁目 13 番 5 号
電話番号	084-924-5556
開設年月日	2016 年（平成 28 年）4 月 1 日
延床面積	894.71 m ²
開館時間	月～金曜日 午前 9 時 30 分～午後 4 時
事 業	①教育相談 学校や家庭において、いじめ・不登校等様々な悩みをもっている幼児、児童生徒にかかわる教育相談を行う。 ②福山市フリースクールかがやき（中央） 集団で学ぶことの苦手な児童生徒が、学校以外で選択できる学びの場の 1 つである。一人一人が違うことを前提に、自分のペースで学んだり、仲間とともに活動したりすることを通して、社会性やコミュニケーション能力を育成する。 ・開設日：月～金曜日 ・時 間：午前 10 時～午後 3 時

※このほか、東部地域、西部地域にもそれぞれ福山市フリースクールかがやきを設置

福山市フリースクールかがやき（東部）

場 所：伊勢丘五丁目 6 番 5 号

開設日：月～金曜日

時 間：午前 10 時～午後 3 時

福山市フリースクールかがやき（西部）

場 所：松永町四丁目 1 4 番 1 号 松永コミュニティセンター内

開設日：月～金曜日

時 間：午前 10 時～午後 3 時

◆学校給食の状況 2024 年（令和 6 年）5 月 1 日現在（幼稚園は、4 月 10 日現在）

（１）実施状況

区 分		総 数	完全給食		
			単独調理場 方 式	共同調理場 方 式	親子方式
幼稚園	幼稚園数（園） 園児数（人）	7 260			7 260
小学校	学校数（校） 児童数（人）	69 22,836	63 21,738	6 1,098	
中学校	学校数（校） 生徒数（人）	30 11,076		5 1,351	25 9,725
義務教育 学校	学校数（校） 児童数（人） 生徒数（人）	2 460 301	1 117 83	1 343 218	

※親子方式：親校（小学校）で調理した給食を子校（中学校）へ搬送する方式。

（２）１食あたり給食費

幼稚園 255 円（主食 50 円 副食 145 円 牛乳 60 円）

小学校 255 円（主食 49 円 副食 148 円 牛乳 58 円）

中学校 290 円（主食 62 円 副食 170 円 牛乳 58 円）

（３）給食センター

名 称	福山市新市給食センター	福山市沼隈給食センター
所在地	新市町大字新市 885 番地	沼隈町大字下山南 1252 番地
電話番号	0847-52-5542	084-987-0380
開設年月日	1967 年（昭和 42 年）2 月 [2013 年（平成 25 年）10 月新築移転]	1967 年（昭和 42 年）4 月 [2001 年（平成 13 年）3 月新築移転]
延床面積	1,083.55 m ²	576.34 m ²
職員構成 (臨時職員含む)	所長 1 名、栄養士 2 名、技術員 11 名	所長 1 名、栄養士 1 名、技術員 9 名
調理数	1,905 食 (内訳) 戸手保育所 61 網引保育所 39 常金丸小学校 106 網引小学校 238 新市小学校 211 戸手小学校 372 駅家中学校 378 新市中央中学校 500	1,458 食 (内訳) 想青学園(前期課程) 381 常石ともに学園 178 山南小学校 106 想青学園(後期課程) 229 松永中学校 361 精華中学校 107 至誠中学校 96